

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2023年7月20日

事業ID:2022S00697

事業名:三重県伊勢市の「子ども第三の居場所」
学習・生活支援モデルにおける子どもへの
体験機会の提供(2022)

団体名:認定特定非営利活動法人ときわ会
藍ちゃんの家

代表者名:代表者 藤田 慶子

TEL:0596-20-5155

事業完了日:2023年6月30日



■契約時

事業費総額	:	200,000 円
自己負担額	:	0 円
支援金額	:	200,000 円

■箇所は(様式3)収支計算書より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	201,001 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	1,001 円	収支計算書の緑のセルの値
支援金額	:	200,000 円	収支計算書の赤のセルの値
支援金返還見込額	:	円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

支援契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、支援契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)支援契約書記載の事業内容(予定)

1.遠足旅行の実施
 (1)実施時期:年4回実施(予定:8月、10月、4月、6月)
 (2)場所:伊勢市内及び伊勢市周辺のレジャー施設
 予定:伊勢忍者キングダム(伊勢市)、イルカ島(鳥羽市)、大内山動物園(大紀町)、志摩スペイン村(志摩市)
 (3)目的:伊勢市近郊のレジャー施設を訪れることにより様々な体験機会を提供することで、子ども時代の大切な思い出をつくってもらうと共に地域の魅力に気づいたり豊かな心を育んだりする。
 (4)意図:伊勢市は豊かな自然に囲まれた地域で、市内及び近郊には気軽に訪れることができる山に囲まれた自然豊かな公園や海などが多数あります。学校の長期休業期間中には、可能な限りそういった場所に利用児童と訪れる機会を設けるようにしていましたが、山が近くにあるだけで驚いたり、海に行くのは初めてだったという児童がいるのが現状でした。伊勢市及び伊勢市周辺には様々な魅力的な場所があり、体験の機会をもってもらいたいと考えています。

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1.遠足旅行の実施
 (1)実施時期:年5回実施(8月、10月、4月、6月(2回))
 (2)場所:伊勢市内及び伊勢市周辺のレジャー施設
 (3)対象:
 ・イルカ島(鳥羽市):令和4年8月 子ども6名
 ・伊勢忍者キングダム(伊勢市):令和4年10月 子ども5名
 ・おやつタウン(津市):令和5年4月 子ども8名
 ・鳥羽水族館(鳥羽市):令和5年6月 子ども6名
 ・高柳商店街夜店(伊勢市):令和5年6月 子ども7名
 (4)内容:伊勢市近郊のレジャー施設を訪れることにより様々な体験機会を提供することで、子ども時代の大切な思い出をつくってもらうと共に地域の魅力に気づいたり豊かな心を育んだりした。



(3)成功したこととその要因

小学校の遠足以外で家族とレジャー施設に行く機会の全くない児童もおり、また普段から家族と外出する機会の少ない児童が多いなかで、予定通り児童にとって子ども時代の大切な思い出になると共に地域の魅力に気づいたりする機会になった。

(4)失敗したこととその要因

雨天により、行き先を変更せざるをえないことがあった。

(5)事業内容詳細

イルカ島(鳥羽市):令和4年8月
伊勢忍者キングダム(伊勢市):令和4年10月
おやつタウン(津市):令和5年4月
鳥羽水族館(鳥羽市):令和5年6月
高柳商店街夜店(伊勢市):令和5年6月※地域で夏の風物詩として夜店市が行われており、6月に体験学習として夜店体験を追加した。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2.体験型学習(工作、理科実験など)の実施
(1)実施時期:随時(月2回程度)
(2)場所:あいちゃんち
(3)目的:様々な事象に興味や関心をもってもらうと共に、非認知能力を育む。
(4)意図:子ども第三の居場所ではまず宿題を終わらせ、その後に読書タイムや自由時間、体験型学習の時間としていますが、簡単な工作や科学実験であっても用意しなければいけないものも多く、回数が限られてくるのが現状となっています。費用の掛からないものを選択するなどの工夫も行っていきますが、児童が興味をしめすものについては可能な限り体験してもらいたいと考えています。



(2)事業内容の実施(完了)状況

2.体験型学習(工作、理科実験など)の実施
(1)実施時期:随時(月2回程度)
(2)場所:あいちゃんち
(3)対象:平均子ども6名
(4)内容:様々な事象に興味や関心をもってもらうと共に、非認知能力を育んだ。

(3)成功したこととその要因

身近にある物や市販のキットなどを活用しながら年間を通して定期的を実施した。子ども達にとっては、楽しみながら様々な事象に興味や関心をもってもらうと共に非認知能力を育む機会になった。

(4)失敗したこととその要因

理科実験については、低学年には難しいのと市販の実験キットの種類が少ないことが分かり、予定どおり実施できなかった。

(5)事業内容詳細

昆虫の模型づくり、スライムづくり、割りばし鉄砲、紙コップ工作、泡ボールをつくろう、つかめる水玉をつくろうなど
工作や理科実験以外では、地域で夏の風物詩として夜店市が行われており、6月に体験学習として夜店体験を実施した。

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3.食育の為の調理実習の実施
(1)実施時期:随時(月1回程度)
(2)場所:あいちゃんち
(3)目的:食の大切さに関心をもってもらうと共に、非認知能力を育む。
(4)意図:現在、利用している児童のなかに家庭で食事を抜いているケースや偏食の為に食事を残すケースがみられます。実際に調理を体験してみることで、食に対する興味関心を高めてもらいたいと考えています。



(2)事業内容の実施(完了)状況

3.食育の為の調理実習の実施
(1)実施時期:随時
(2)場所:あいちゃんち
(3)対象:平均子ども6名
(4)内容:食の大切さに関心をもってもらうと共に、非認知能力を育んだ。

(3)成功したこととその要因

積極的に調理実習に参加する児童が多く、食に対する興味関心の高さを知ることができた。

(4)失敗したこととその要因

調理実習の際には、衛生面や怪我などを防ぐために十分な職員を配置したかったが難しかった為、予定していた通りに調理実習を行えず興味関心を食育に繋げていくまではできなかった。

(5)事業内容詳細

ホットケーキ、ナポリタン、オムライス、卵焼きなど

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

4.季節イベントの実施
 (1)実施時期:年2回実施(BBQ:8月、クリスマスパーティ:12月)
 (2)場所:あいちゃんち
 (3)目的:保護者や近隣住民を招いてのBBQやクリスマスパーティを実施することで、子供の豊かな心を育むとともに、保護者や近隣住民との信頼関係を構築する。
 (4)意図:生活困窮等の理由により体験機会の少ない子ども達にとっての思い出づくりだけでなく、近隣住民との世代間交流の機会と考えています。また、保護者に子ども第三の居場所での児童の様子や成長を知ってもらう機会にもしたいと考えています。



(2)事業内容の実施(完了)状況

4.季節イベントの実施
 (1)実施時期:年2回実施(BBQ:11月、クリスマスパーティ:12月)
 (2)場所:あいちゃんち及び伊勢市近隣の公共施設
 (3)対象:
 ・BBQ(たまき水辺の学校):令和4年11月 子ども8名 保護者等9名
 ・クリスマスパーティ(あいちゃんち):令和4年12月 子ども8名
 (3)内容:保護者や近隣住民を招いてのBBQやクリスマスパーティを実施することで、子供の豊かな心を育むとともに、保護者や近隣住民との信頼関係を構築した。

(3)成功したこととその要因

予定通り保護者に参加してもらうことができ、拠点での児童の様子を保護者に知ってもらう機会になっただけでなく、保護者と児童の関係性についても知る機会になった。

(4)失敗したこととその要因

拠点を保護者や近隣住民に参加してもらうイベントを開催する予定だったが、騒音などに関して近隣住民からの中止要請があり実施場所の変更となった。その結果、近隣住民には参加していただけず、児童の拠点での姿をみってもらう機会や交流してもらうことが予定通り出来なかった。

(5)事業内容詳細

BBQ:11月 実施
 クリスマスパーティ:12月 実施

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)支援契約書記載の目標

1.遠足旅行の実施
 2.体験型学習(工作、理科実験等)の実施
 3.食育の為の調理実習の実施
 4.季節イベントの実施

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	432	文字数チェック	OK
年間を通じて、子ども達の活動をより充実させる目標は達成できました。「遠足旅行の実施」では、予定通り年間を通して4箇所のレジャー施設を訪れた。但し、雨天により「志摩スペイン村」から「おやつタウン」に行き先を変更した他、梅雨期間の雨天を考慮し事前に行き先を屋外施設から屋内施設に変更した(「大内山動物園から「鳥羽水族館」に変更)。「体験型学習(工作、理科実験等)の実施」については、身近にある物や市販のキットなどを活用しながら年間を通して定期的に実施した。「食育の為の調理実習の実施」については、予定通りの内容と実施回数には至らなかったが、代わりに体験型学習の充実を図った。「季節イベント」の実施については、一部近隣住民の方からのご理解を頂けず拠点でのイベント実施が難しくなった結果、近隣住民の方に児童と接してもらう機会を予定通りもてなかった。保護者には予定どおり参加してもらい児童の様子などを知ってもらう機会になったが、参加していただけなかった保護者もあった。			

3.事業実施によって得られた成果

年間を通じて、児童の活動をより充実させることができた。「遠足旅行の実施」では、学校の遠足以外では観光地を訪れる機会が全くない児童もおり、子ども時代の思い出をつくるだけでなく様々な事象に興味関心を持つ機会になった。「体験型学習(工作、理科実験等)の実施」については、非認知能力を高められるよう工作や理科実験を提供するなかで、子ども達が挑戦したい内容を可能な限り叶えるようにし、楽しみながら様々な事象に興味や関心をもってもらった機会になった。「食育の為の調理実習の実施」については、衛生面や怪我などを防ぐために十分な職員を配置するのが難しかった等があり予定通りの実施とならなかったが、児童の食に対する興味関心の高さを知ることが出来た。「季節イベント」の実施については、予定通り保護者に参加してもらうことができ、拠点での児童の様子を保護者に知ってもらった機会になっただけでなく、保護者と児童の関係性についても知る機会になった。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

保護者や近隣住民に拠点での児童の様子を知ってもらった機会として、「季節イベントの実施」でBBQを実施する予定だったが、近隣住民の方からの中止要請を受け公共のキャンプ場での実施に変更した。拠点では、児童の声などに関して近隣からご意見を頂くことがあり、地域全体で子ども達を育てていくという土壌がまだまだつくられていないことが分かった。今後は、BBQやクリスマス会などのイベントだけではなく、近隣の方が気軽に来て頂けるような取組も考えていく。

5.事業成果物

(1)支援契約書記載の成果物名称

完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書



(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf
(なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

上記で登録したURLをご記載ください。

収支計算書

(2022年 7月 20日から 2023年 6月 30日まで)

団体名 :

認定特定非営利活動法人ときわ会
藍ちゃんの家

事業名 :

三重県伊勢市の「子ども第三の居場所」
学習・生活支援モデルにおける子どもへ
の体験機会の提供 (2022)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	返還金見込額
日本財団支援金収入	200,000	200,000	
自己負担		1,001	
収入合計	200,000	201,001	

支出の部

科目	予算額	決算額	備考
教養娯楽費	47,200	96,020	
消耗品費	60,000	28,175	
食材費	86,500	73,806	
旅費交通費	5,000	3,000	
申請時調整	1,300		
支出合計	200,000	201,001	